

まちの ニュース



田村市長などと記念撮影をする新成人の皆さん

大人の階段に第一歩を踏み出す成人式

新しく成人となる青年たちに、大人としての自覚を持つてもらおうと第2回八幡平市成人式は8月15日、西根地区体育館で西根、松尾、安代の3地区から新成人が一堂に会して行われました。

本年度の対象者は昭和61年4月2日から62年4月1日までに生まれた378人。このうち、約7割に当たる256人が参加しました。

平野宗大さん誓いの言葉を述べました



式典で田村正彦市長は「20歳は誰もが通過する人生の大きな岐路です。これからの八幡平市を盛り上げていくため、若い皆さんのアイデアと力を役立ててください」と式辞を述べました。

新成人を代表して平野宗大さん（田頭）が「地域社会の一員として、使命感や責任感を持ち、八幡平市をはじめ、社会の要請に十分応えることがで

きる成人を目指します」と誓いの言葉を述べ、新成人としてのスタートを切りました。

式典終了後、岩山漆芸美術館長の全龍福（カネリキ）さんを講師に迎え、「足元文化の大切さ」と題して講演を行いました。

世界に一つだけのマイカップを作ろう

安代小学校（高橋ひさ子校長）は8月24日、地域との連携による授業の一環として、陶芸教室を開催しました。

参加したのは6年生の児童42人。世界に一つだけのオリジナルカップ作りに挑戦しました。陶芸はほとんどの児童が初めての体験で、荒屋公民館の陶芸同好会の会員5人を講師に迎え、指導を受けながら制作しました。

新聞紙で覆った空き缶にひも状に伸ばした粘土を巻き付けながら形を作ります。児童たちは真剣な表情で粘土を重ね、丁寧に作品を仕上げました。作品は乾燥させた後、絵を描いて焼き上げ、9月下旬に完成。安代地区文化祭に出展する予定です。

参加した児童は、初めての作品の出来栄を前に満足そうな笑顔を浮かべました。



↑ 真剣な表情で作品づくりに取り組む児童たち

← 陶芸同好会の地域住民に指導を受けながら、作品を仕上げていきます

地域の安心と安全を祈る火防のまつり

柏台少年消防夏祭りは8月10日、柏台消防屯所周辺で開催されました。

この祭りは、地域から火事を出さないように取り組んでいるもので、今年で3回目。屋台や花火大会などのほか、防火研修会が行われました。

少年消防クラブの子どもたちは、無火災の願いを込めて「ワッショイワッショイ」と元気のいい掛け声を上げて樽みこしを担ぎ、地域を練り歩きました。



元氣よく樽みこしを担ぐ子どもたち

リンドウの花で安全運転呼び掛ける



リンドウなどを配布し、交通安全を呼び掛けました

岩手警察署と市の交通安全関係者は8月11日、夏の交通事故防止県民運動の期間に合わせて、夏の交通事故防止啓発活動を市内4力所で行いました。

東北自動車道下り線の岩手山サーピスエリアでは、関係者など約20人が帰省客に特産品のリンドウやカブトムシ、市の観光パンフレットなどを配布。「安全運転でふるさとへお帰りください」と交通安全を呼び掛けました。

江戸時代から続く伝承のぶっこみ太鼓

田山盆踊りは8月16日、田山保育所付近で行われました。盆踊りの前に「ぶっこみ太鼓」を行うのが特徴。上組、下組に分かれた太鼓とちようちん行列が勇壮な掛け声を上げながら会場へ向かいます。参加者は、力強い太鼓に合わせて盆踊りを楽しみました。



掛け声とともにまちを練り歩く「ぶっこみ太鼓」



ボール送り競技では、見事なチームワークを披露

健康と元気を競う市老人スポーツ大会

お年寄りの健康保持と相互の親ほくを深めようと、市老人スポーツ大会は8月3日、市総合運動公園多目的広場で開催されました。

大会には、市内全域から約350人の元気なお年寄りが出場。徒競走やボール送り、ゲートボールリレーなど7種目で交流を深めながらスポーツを楽しみました。競技の結果は次のとおりです。

▼①安代②田頭・平館③大更・寺田

畑吉太郎さんが百寿の誕生日を迎える

畑吉太郎さん(松尾寄木)が8月20日にめでたく100歳の誕生日を迎えました。

当日は田村正彦市長がお祝いに駆けつけ「長寿世界一を目指して、元気で長生きしてください」と励まし、お祝いの花束を手渡しました。

畑さんは、明治40年旧松尾村の生まれ。73歳まで建設会社に勤務し、農作業なども最近まで行っていました。食べ物好き嫌いはなく、とても元気なおじいちゃんです。



畑さんにお祝いの花束を渡す田村市長

90万人の入浴者に届ける感謝の気持ち



もちまきを行い、利用者に感謝しました

平成11年7月15日に開業した岩手山焼走り国際交流村「焼走りの湯」は8月4日、入浴者90万人達成を記念して、感謝イベントを開催しました。当日はあいにくの雨模様ながら、入浴に訪れた人を中心に約100人がイベントに参加し、90万人達成を祝いました。イベントでは、紅白のもちまきや、旧松尾村を舞台に撮影された山田洋次監督の映画「同胞」を上映し、来場者をもてなしました。

河川愛護の心を学ぶフォーラムを開催

田山地域振興協議会は8月14日、協働のまちづくり事業の一環として米代川マスつかみ祭りフォーラムを米代川の田山橋下流で開催しました。米代川漁協の関義男組合長を講師に招き、米代川の環境について学習。会場周辺でゴミ拾いを行った後、合図とともに参加者は川に入り、放流したニジマス1600匹を追いかけてました。参加者は水に親しみ、河川愛護の思いを新たにしました。



つかみ捕りを楽しむ参加者

全国の児童と競うB&G水中大運動会



浮き輪を手で漕いでゴールを目指す「浮き輪でGO！」

地域海洋センターサポート21事業アクアキッズフェスは8月1日、松尾B&G海洋センターで開催されました。この行事は、全国のB&G海洋センターで同じ日に行われ、4人一組で同一種目のタイムを全国で競います。競技は、水中4人5脚、浮き輪でGO！、着衣&お着替え100メートル、ノータッチボールの5種目。参加した児童は、上位入賞を目指し、力を合わせて競技に挑みました。

小さな力士たちが国技館を目指し奮戦

第26回東北学童相撲大会、平成19年度JOCジュニアオリンピックカップ、第20回全日本小学生相撲優勝大会東北ブロック予選会は8月20日、市松尾相撲場で開催されました。

東北6県から団体戦に出場

する小学校26校、個人戦の約200人の選手が参加。開会式で中高輝くん(大更小6年)が「練習の成果を発揮して、正面から全力でぶつかります」と選手宣誓しました。

選手は立ち合いから力強く相手にぶつかり、土俵の上で

日ごろ鍛えた力と技を競いました。



↑小さな力士たちが展開する、大人顔負けの取組に観客席から大きな声援が送られました

←開会式で選手を代表し、全力を尽くすことを誓う中高輝くん

西根4地区の大運動会で大ハッスル!



チーム一丸となって綱を引く平館地区の皆さん

西根地区の大運動会は8月19日、大更、田頭、平館、寺田の4会場で開催されました。西根地区では、地区公民館単位で毎年同日に運動会を開催しています。

当日は好天に恵まれ、絶好の運動会日和。参加者は地域の交流と連帯を深めながら、普段の運動不足を解消しようと、さわやかな汗を流しました。

運動会には、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の市民が参加。個人種目の年代別



4人で棒を持ってゴールを目指す大更地区の「横一線」

徒競走やチャンスレース、団体種目の綱引きやリレーなど各地区で特徴ある多彩なプログラムを展開しました。

選手たちは、地域とチームの名誉をかけてそれぞれの種目に挑み、全力ではつらつとしたプレーに応援団から大きな声援が送られました。各地区の結果は次のとおりです。

- ▼大更①両沼②下町③駅前
- ▼田頭①間羽松②町組③高宮
- ▼平館①駅前・わし森②山崎
- ▼桃沢・笹目・松久保
- ▼寺田①帷子②川原目・上関
- ③寺田